

成果指標				
成果指標	当該年度のGT体験受入者数／前年度のGT体験受入者数×100			
指標設定の考え方	GT体験受入者数を昨年度実績と比較することで事業効果を測る。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標22年度
目 標	100%以上	100%以上	0	0
実 績	0.7	1.3	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成28年度には、伊予地区、中山地区からも、協議会への新規加入や、全国グリーンツーリズム愛媛大会開催時に、分科会を開催することになっており、市内外への宣伝及び体験メニューの充実化を図りながら、都市と農村の交流促進を図る。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度協議が整い、来年度から新たに伊予地区・中山地区からも新たに参加団体が加わり、より広域な活動が展開されることになった。引き続き、自主的な活動に向けた支援と、全体的な底上げに資する市内全域からの参加団体の増加を目指す必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題